

GLTP4期生への進路相談記録(2022年度GLTPカンファレンス質問記録)

2022年11月11日および2022年11月22日に行われた第4回GLTPカンファレンス『GLTP4期生によるお悩み進路相談会』における質問記録となります

2023/1/21更新

目次

❑ 国内インターンシップ	_____	p3
❑ 海外インターン	_____	p6
❑ 海外留学	_____	p8
❑ GLTP制度	_____	p10
❑ 早期研究室活動	_____	p15
❑ その他	_____	p17



国内インターンシップ



国内インターンシップ

Q. インターンシップに行ってみたいという気持ちはありますが、何をすればいいのかわかりません。(学域2年)

A. インターンシップといっても幅広く様々なものが存在します。例えば就職活動の一環で、B3、M1の夏休み等に企業や研究所に行き、就業体験をするものや、アルバイトのように実際に業務にあたり、お金をもらいながらスキルを獲得するものがあります。始めは、自分がやりたいこと、成し遂げたいこと、獲得したい経験やスキルについて考えたのち、目的に合うインターンシップ先を探してみてもいいでしょうか？

インターンを見つける方法としては

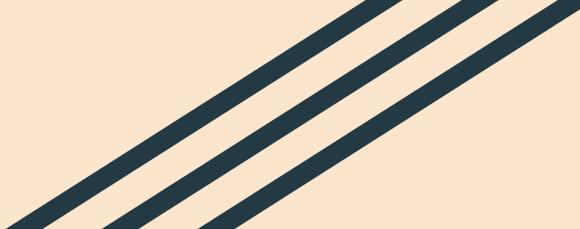
- 友達や先生などの知り合いに紹介してもらう。
- ネットで調べる。
- 大学のインターン推進室に聞く。

などがあります。

国内インターンシップ

Q. GLTPのカリキュラムにある、4年後期の学外研修はどうすればいいですか。先輩方がいつ頃、どのように研修先を決めたか教えてください。(学域3年)

- A. 研究室の先生に学外研修先を紹介してもらっている人が大半です。海外の大学と共同研究している事も多く、私は共同研究先で研究留学をしていました。ラボワーク時からどの研修先が考えられるのかを先生に確認してみることも、研究室選びの要素の一つになると思います。また、もし海外留学する場合、奨学金の申請スケジュールを考慮して、受け入れ先をいつまでに決めなければいけないのかを逆算したほうが良いです。トビタテ！留学 Japanという奨学金は例年2月が申請期限なため、その奨学金を獲得したい場合は12月、1月までには受け入れ先を決定した方が良いでしょう。



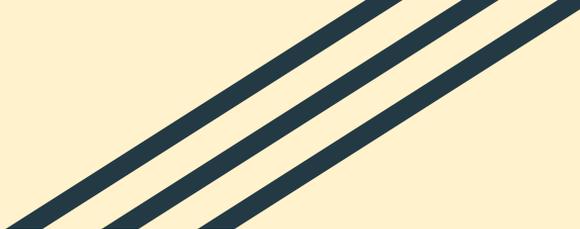
海外インターンシップ



海外インターンシップ

Q. 在学中に長期留学したいと考えていますが、休学をせずに長期留学するにはどうしたらいいのでしょうか?(学域3年)

A. GLTP制度を利用するのであれば学域4年生の後学期(約6カ月間)に長期留学することが可能です。また、大学院での留学を検討している場合は、学域4年生の際に大学院連携科目の履修および大学院1年生の時に必要な単位を取得することで大学院で一年間の長期留学することが可能です。



海外留学



海外留学

Q. 長期間の海外留学に行ってみたいのですが、何をすればいいですか。まだ目的も決まってません。また、休学せずに長期留学に行きたいです。(学域2年, 3年)

- A. 海外留学は、交換留学、語学留学、研究留学など、留学する目的によって様々なプログラムがあります。それぞれのプログラムがどのようなスケジュールになるのか、また、奨学金についてなど、国際課留学生交流係に聞いてみると良いでしょう。休学せずに留学するには、長期休みを利用した留学、大学院でうまく履修計画を立てての留学、GLTPの学外研修を利用するなどの方法があります。長期留学は単位やお金の問題がどうしても発生するので、早めに動いて損はないです。



GLTP制度



GLTP制度

Q. ラボワークでは、どれくらいの時間・量を実施すればいいですか？またそれに伴って3年前期の授業の時間割について、どれくらいの時間数を入れるか、悩んでいます。(学域3年)

A. ラボワークは目安として3研究室でそれぞれ1ヶ月程、週1回の実習とされていますが、具体的なワーク時間に限度はありません。ラボワーク先の先生と、稼働できる時間、やりたいテーマなどを元に実習時間を決めていくと思います。また履修科目についてですが、ラボワークにどれくらい時間を割きたいのかに依存します。もしラボワークを多くの時間やりたいのなら、前期後期で授業を均等にしてもいいですし、後期から始まる卒業研究のために、前期に多くの授業を履修してもいいと思います。ちなみに私は、ラボワークを多くの時間実施したかったため全休の日を作るなど時間割を工夫しました。

GLTP制度

Q. GLTPの面接はどんな感じですか？面接官の人数、質問内容など教えてください。(学域2年)

- A. 約6人の教員対生徒1人の面接でした。想定よりも教員の数が多く、緊張した覚えがあります。内容は、自分はリーダーに相応しいか、リーダーになれるのかなど、グローバルリーダーへのパッションについて問われた覚えがあります。これは、GLTPはただの早期研究室配属の制度ではなくグローバルリーダーを育成するプログラムであることを意識した質問だと思われます。また志望理由などの提出した書類の内容について、かなり深掘されます。特に、GLTPに入ることで、どのようなメリットがあるかを具体的、論理的に話せるとよいと思います。

GLTP制度

Q. 留学をしたいのですが、奨学金としては何がありますか？
また、おすすめの英語の学習法があれば教えてください。(学
域2年)

A. 海外留学では、奨学金が欠かせないと思いますが、おすすめの奨学金としてトビタテ！留学Japanがあります。学内でも、多くの合格者がいます。過去の申請書を見たかったり、書き方について知りたい場合は、国際課留学生交流係に問い合わせてみてください。英語の学習法ですが、実践的コミュニケーション教育推進室が開講している英語学習のためのセミナーや留学生と交流するサークルなどに参加してみてもはどうでしょうか。

GLTP制度

Q. GLTPで縦のつながり、横のつながりはありますか？
(学域2年)

- A. 大学院で、GLTPセミナー、GLTPカンファレンスがあり、同期のGLTP生とイベントを運営するため、横のつながりはあります。縦のつながりとしては、GLTP生のslackがありますが、コロナ禍ということもあり交流はあまりしていないのが現状です。ただ現在GLTP内でも同様の問題意識を持っているため、今後何かしらのイベントを実施できれば良いなと考えています。



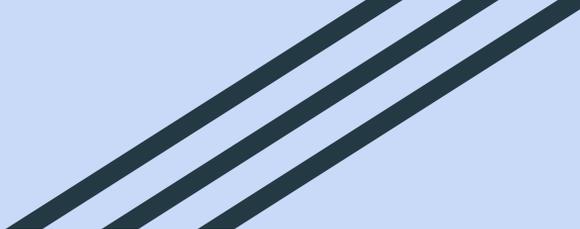
早期研究室配属



早期研究室活動

Q. GLTPの早期配属だと原則1研究室に一人で、同期がおらず、遠隔のため先輩方にもコミュニケーションを取るのが難しいです。アドバイスをお願いします。(学域3年)

- A. 遠隔の場合、研究室内の気軽なコミュニケーションが取りにくいといったケースは、私の周りでもありました。その友人の話では、教員にコミュニケーションの機会を増やしたい旨を相談してゼミの数を増やしてもらっていました。ゼミの最中やその後に進路に関する相談や研究でわからないことを質問しており、以前よりもコミュニケーションが増えたと言っていました。教員にもよりますが、一度相談すれば何か解決策を一緒に考えてくれるかもしれません。また進路相談に関しては気軽にGLTPの先輩にも相談してください。



その他



その他

Q. 漠然と次に向けて行動したいと思っておりますが、自分のやりたいことが明確でないです。(学域1年)

- A. 大学の授業を頑張りつつ、様々な人に会ったりイベントに参加してみてもどうでしょうか？ また、オープンラボなどに参加し、色々な研究を見て回ることで興味のあるトピックが見つかるかもしれません。特に GLTP 生はラボワークという形で様々な研究に関わることが可能で、興味のある範囲を広げられることに繋がります。学外研修により未知のフィールドで自分を躍進させることが可能です。

その他

Q. GLTPに入ったら、他大学の大学院にいけませんが、行くことは考えなかったのか？(学域2年)

A. ご存じの通り、GLTP生になると修士では他の大学院には行けません。私は学域 2年当時、他の大学院に行くよりも早期に研究に着手したかったので、GLTPに申し込みしました。他方で、他大学でやりたいこと、一緒に研究をしたい教授がいるのであれば、GLTP申し込み前にどちらを選択するのか予め熟慮した方が良いでしょう。

その他

Q. 研究室はどうやって決めましたか？(学域2年)

- A. 私はラボワークや研究室見学を通して、研究内容と研究室の雰囲気を見て決断しました。しかし、研究室選びはその他にも教授との相性や研究設備など判断基準が様々あり、それぞれの基準の重要性は人によって異なります。私はやりたいこと、自分にとって大事なことを一番に選ぶことで、困難な課題に直面した際にも挫けずに頑張れると思います。